

## 2021年～2025年の各1月における「贈与金」平均額が全国1位

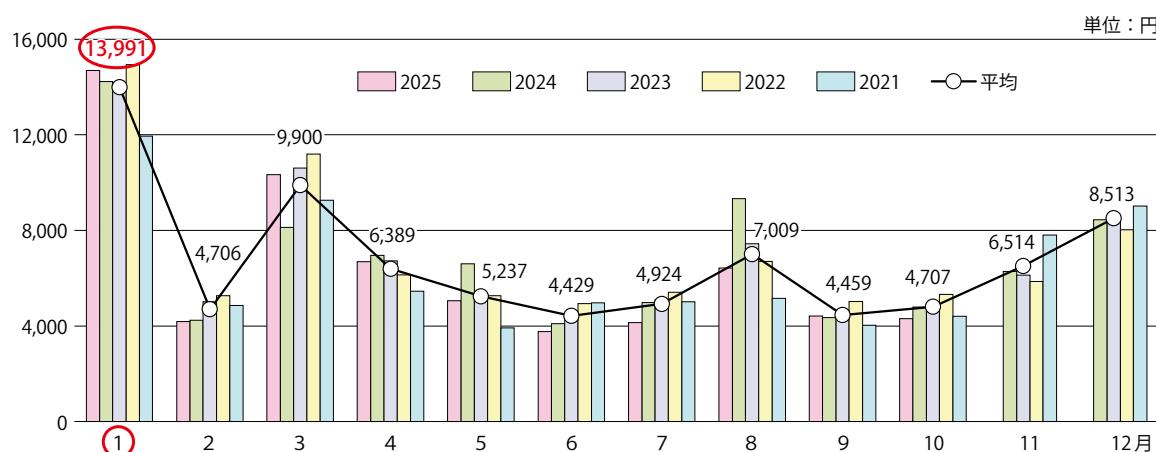
○総務省の家計調査（二人以上の世帯）によれば、2021年から2025年までの過去5年間における「贈与金」支出額を月別にみると、1月は平均13,991円となり、他の月と比べて金額が高い（図表1）。これは、お年玉が含まれているためと考えられる。

○そこで、2021年から2025年の各1月における「贈与金」支出額を、全国の都道府県庁所在地および政令指定都市5市<sup>※1</sup>で比較したところ、前橋市の「贈与金」平均支出額は20,102円で、最も高かった（図表2）。

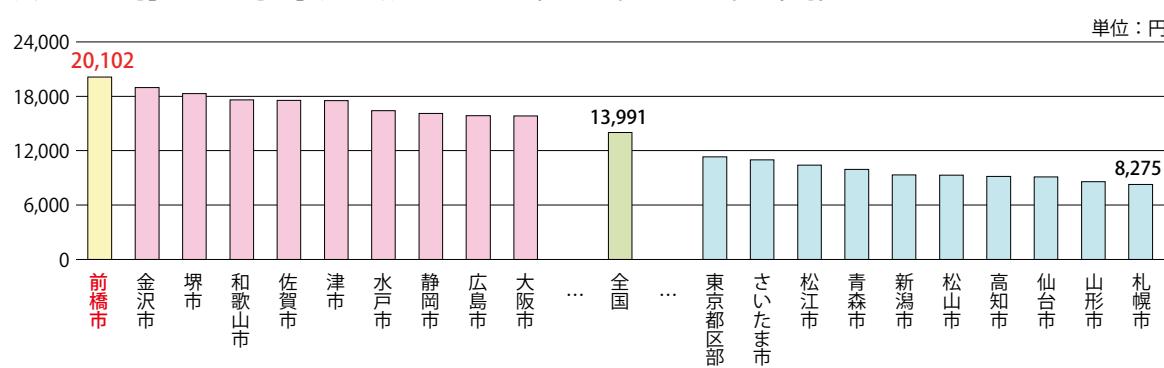
○下位には、北海道・東北・四国といった地域の都市が並んでいる。これらの地域は、東京から離れていて帰省に伴う負担が大きく、親族が一堂に会する機会が相対的に少ない可能性がある。一方、前橋市は首都圏と近く、「お年玉」を親族に手渡す機会が比較的多いのかもしれない。

※1：川崎市、相模原市、浜松市、堺市、北九州市

図表1 2021年～2025年の過去5年間における月別の「贈与金」（全国）



図表2 「1月」の「贈与金」支出額ランキング（2021年～2025年の平均）



資料：総務省統計局「家計調査（二人以上の世帯）」

【一口メモ】

家計調査の分類によると、「贈与金」は「一般社会の慣行による自発的現金支出」に該当し、餞別や見舞金などが含まれる。他世帯への支出のみが計上されるが、仕送り金や慰謝料は除かれる。

（担当：研究員 大井飛知岐）